

令和6年度第2回学校運営協議会議事録

鹿児島市立清水中学校

1 日時
令和6年7月10日(水) 10:00 ~ 11:30

2 場所
本校校長室

3 出席者

運営協議会委員	【出席者】 8名	【欠席者】 2名
学 校	校長, 教頭, 教務主任, 生徒指導主任	

4 日程

- (1) 開会のことば
- (2) 会長あいさつ
- (3) 校長あいさつ
- (4) 協議

ア 1学期の様子から

- ・ 各行事について
- ・ 学力の実態について
- ・ いじめや不登校について
- ・ 進路希望状況について
- ・ 自己推薦について

イ 各主任から

ウ 意見交換・質疑応答

エ その他

- (5) 閉会のことば

5 協議の内容や意見等

- (1) 1学期の様子から

- ・ いじめ事案等で関わった生徒の様子や保護者の反応について
→ いじめの訴えについては、個別面談を行い、状況を把握するとともに対応を関係の保護者と連携しながら対策チームで協議し、対応している。関わった生徒については、しっかり反省させるとともに同じようなことがないように指導している。保護者についても子供のしたことを真摯に受け止め、学校と同じ歩調で指導している。
- ・ P T A への加入率について
→ 全体で約20%程度の入会率である。
- ・ 家庭訪問の実施について
→ 戸口訪問(10分程度)として実施している。

- (2) ご意見等

- ・ 保護者との情報の共有化が必要であり、開かれた学校が求められている。それぞれの学校の課題を考えてもらう機会を設け、家庭の教育力を向上していく手立てが求められている。
- ・ いよいよ夏休みが始まる。いのちを大切に教育を充実させてほしい。また、自由になる現金を持っている生徒がおり、おごる、おごられることも多くあるようである。本人が見せていることもあるのか、お金を持っている状況を周囲の人たちも知っている様子で、トラブルにつながることも考えられるので、しっかり指導しておく必要がある。
- ・ 不登校の子どもは、周りの人との関わりが苦手であり、もしかしたら担任や副担任との関係で悩みがあるのかもしれない。子どもの精神的なものをケアできる専門家を配置する必要がある。
- ・ SNSでのトラブルについて、事前の指導の徹底が必要である。それぞれの発達段階で情報を提供し、保護者や地域を巻き込んでの対応を検討していく段階にきている。特に、スマホ等を買って与える時にしっかり子供と話し合い、使用のルール等を設定しておく必要がある。また、犯罪行為になる場合も考えられるので、記録は残しておくことも大切である。
- ・ 保護者の価値観や考えが子供に大きな影響を与えている側面もあり、学校と家庭、地域が足並みをそろえた支援が必要である。また、大人が考えているよりも子供は先を進んでおり、そう考えると大人への教育が急務である。